

貞山運河の再生と復興に向けた取組み状況

平成27年4月現在



～貞山運河とは～
 貞山運河(木曳堀, 新堀, 御船入堀, 東名運河, 北上運河の総称)は, 全長約49kmにわたり仙台湾沿岸を繋ぐ, 日本一の運河群です。
 古くは舟運を目的として, 約400年前, 仙台藩主伊達政宗の命により建設が始まったとされる運河です。



②北上運河 (北北上運河)

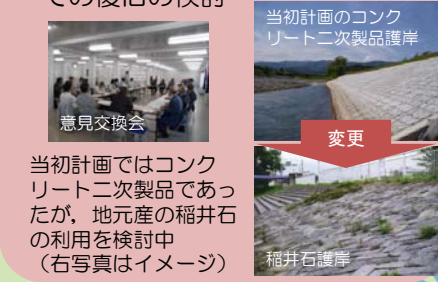
○釜閘門の復旧



L1津波に対応した釜閘門の復旧。景観配慮としてシンメトリー(左右対称)や擁壁の修景に配慮

⑤東名運河

○意見交換会を踏まえた石積護岸での復旧の検討



当初計画ではコンクリート二次製品であったが, 地元産の稲井石の利用を検討中(右写真はイメージ)

⑥御船入堀 (砂押貞山運河)

○既存石積み護岸の復元



粘り強い堤防構造を残しつつ既存の石積み護岸の復元

⑦御船入堀 (砂押貞山運河)

○復興からの象徴となる桜を官民連携で植樹



東日本大震災からの復興の象徴, 津波防災意識の継承を目的として, 運河沿いに桜を植樹(写真は平成27年3月の植樹式)

⑨木曳堀 (中貞山運河)

○運河の災害復旧工事における覆土の試験施工



試験施工
 自然環境(水際の植生回復)や景観へ配慮し, 堤防への覆土を実施

- 【凡例】
- ✈️ : 空港
 - ⚓ : 港湾
 - 🌿 : 干潟等
 - : 運河

①北上運河 (北北上運河)

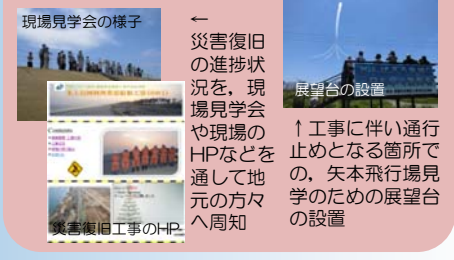
○石井閘門(※1)の補修



国土交通省北上川下流河川事務所施工
 施設の老朽化と東日本大震災で被災した石井閘門(明治13年完成)の補修を実施。
 ※1: 現在, 国内で稼働している閘門としては最古であり, 国の重要文化財に指定。

③北上運河 (北上運河)

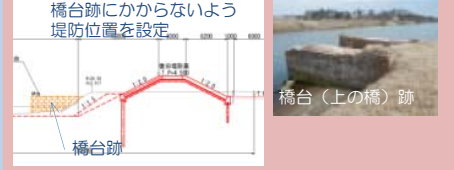
○情報の発信



災害復旧の進捗状況を, 現場見学会や現場のHPなどを通して地元の方々へ周知
 ↑工事に伴い通行止めとなる箇所での, 矢本飛行場見学のための展望台の設置

④北上運河 (北上運河)

○野蒜築港跡橋台の保全



明治初期に行われた日本初の近代港湾の建設に伴い設置された橋台(文化財)を保全するため, 橋台に堤防がかからないように, 堤防法線を設定し, 文化財を保全

⑧新堀 (北貞山運河・南貞山運河)

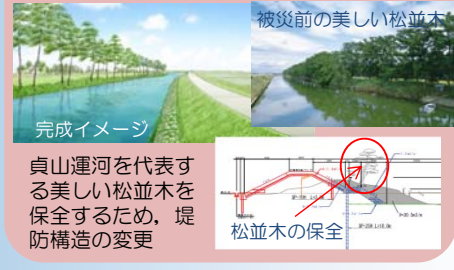
○仙台市海岸公園との連携



海岸公園復興基本計画(仙台市)より

⑩木曳堀 (五間掘川)

○既存松並木の保全



貞山運河を代表する美しい松並木を保全するため, 堤防構造の変更